

2013 年度 センター試験 倫理、政治・経済 (本試験) ワンポイント解説

<p>第1問</p>	<p>問 1 問 2 問 3 問 4 問 5</p>	<p>リード文は「倫理」の第1問と同一で、設問は第1問からの抜粋。</p> <p>倫理 04 と同一。現代の家族構成では、未婚や高齢世帯における配偶者との死別などが原因による、単独世帯が増加中であり、「一人で住んでいる人の割合は低下」や「高齢者の単独世帯数は減少」は誤り。のいわゆる夫婦別姓は、議論されているが制度として導入はされていない。</p> <p>倫理 05 と同一。ア. はマズローの思想。マズローの欲求階層説によれば、欲求は〔生理的欲求 安全 所属・愛情 承認・自尊心 自己実現〕へと段階的に発展する。イ. の「力への意志」はニーチェの思想。ウ. のマーガレット・ミードは、青年期の心理は普遍的ではないと主張した。エ. の集合無意識は、ユングの思想で、人類の太古からの経験が蓄積され受け継がれて生み出された普遍的イメージを意味し、後天的に獲得されるものではない。</p> <p>倫理 06 と同一。壮高年層をみると、状況説明が5割を越え、効果的補強が10割であるので、複数の意図が含まれる回答をした者の割合が半数以上となる。</p> <p>倫理 08 と同一。活動とは、人と人とが直接関わり合う公的な営みであり、また引用文には「語り合う」ことによって自分を示すとあるので、直接他人に対して抗議する(語り合う)行為をしている が正解。</p> <p>倫理 09 と同一。「言語ゲーム」とは日常生活で行われる会話を指す。言語ゲームの規則は、実際に参加しなければ理解されないとされる。</p>
<p>第2問</p>	<p>問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7</p>	<p>リード文は「倫理」の第3問と同一で、設問は第2問・第3問からの抜粋。</p> <p>倫理 21 と同一。日本の古代思想では、唯一絶対の神を想定しない。また天地万物は「おのずから」次々と生じ発展するものとされ、神々は事物に影響を及ぼすことはあるが、「世界に存在するすべてのもののあり方を定めている」ということはない。</p> <p>倫理 14 と同一。六波羅蜜は、大乘仏教の6つの徳目であり、布施・持戒・忍辱・精進・禅定(利他ではない)・智慧をいう。ブッダは諸法無我と述べて「永続する自己」を否定した。道諦の本質は中道であり、その詳細が八正道であるが、中道においては苦行が否定される。苦悩を引き起こすのは煩悩であり、煩悩は無我や無常に対する無知に由来する。</p> <p>倫理 23 と同一。末法とは、鎌倉時代に広まった思想であり、教(ブッダの教え)・行(その教えに基づく修行)・証(教えの証しである悟り)のうち、教だけが残っている、乱れた時代を指す。</p> <p>倫理 15 と同一。孔子は道を道徳と捉え、その本質は忠(まごころ)と恕(思いやり)にあると考えた。孟子は性善説を唱え、人間は生まれつき四つの善なる性質(惻隱の心(憐れみ)・羞惡の心(悪を恥じ憎む)・辞讓の心(へりくだる)・是非の心(善悪・不正を見分ける))を持っていると主張した(四端説)。</p> <p>倫理 25 と同一。いずれも江戸時代の著名な思想家であるが、受験倫理では一般にマイナーである。貝原益軒は、博学で知られた朱子学者であり、朱子学の合理的実証的精神を持っており、本草学・教育・政治経済の分野で業績を残した。山片蟠桃は、懐徳堂(塾の名前)に学んだ蘭学者で、合理主義者として著名であり、地動説や需給の法則を説き、また無鬼論(無神論)を提唱した。三浦梅園は、儒学(朱子学)と蘭学を融合し、自然哲学としての条理学を構築した。</p> <p>倫理 28 と同一。西田幾多郎のキーワードとしては、純粹経験・主客未分・善・人格の実現・絶対無の場所、などが重要である。</p> <p>倫理 29 と同一。リード文の内容は、筋道に沿って考え、思考を深め、あるべき世を求めて物事を貫く道理を追求し、世界を認識する主体のあり方を問い、世界と自己のあり方を問い直す、といった内容である。「懐疑的立場」を保持することでなく、「自国の文化の固有性を否定」することでもなく、「世界の移ろいと『理』とを一體的に理解すること」でもない。</p>

第3問		<p>リード文は「倫理」の第4問と同一で、設問は第4問からの抜粋とオリジナル2題。</p> <p>問1 「倫理、政治・経済」オリジナルの出題。他の選択肢で知らない事項があったとしても、に誤りがないとは判断可能。</p> <p>問2 「倫理、政治・経済」オリジナルの出題。 トーラーは旧約聖書の一部、 イエスは自ら聖書を編集していない、 スッタニパータはブッダの言葉。</p> <p>問3 倫理 31 と同一。種族のイドラは「人間に共通する自然的な制約から生じる」ものであり、洞窟のイドラは「各人が各様にもっている経験や知識から生じる」ものであり、市場のイドラは「人間相互の交わりや社会生活から生じる」ものである。</p> <p>問4 倫理 32 と同一。諸国家の制度を比較し、三権の抑制と均衡を説いたのはモンテスキューである。 学問や技術を集大成した百科事典(百科全書)の出版に尽力したのはディドロである。 素朴な感情である憐れみの情が文明の発達につれて失われる、としたのはルソーである。</p> <p>問5 倫理 33 と同一。 物自体とは、認識する主観とは独立した、それ自体として存在する物であり、考えられることはできても認識されることはない。 因果関係が主観的信念に過ぎない、としたのはヒュームである。 カントは、霊魂や神などは理論理性ではなくて実践理性の対象である、と考えた。</p> <p>問6 倫理 36 と同一。ハイデggerのキーワードとしては、不安・ひと(ダス・マン)・日常性・死への存在・存在忘却・故郷喪失、などがある。ルサンチマンはニーチェ、絶望はキルケゴール、人倫は儒教またはヘーゲルの用語である。</p> <p>問7 倫理 38 と同一。リード文では、権威や価値を鵜呑みにしない、政治や社会に対しても批判的な眼を向ける、権威の正当性を問いただす、このような批判精神が自由で平等な社会を目指す推進力となる、同時にこのような社会が理想を裏切ることもあり得る、と記されている。また、社会や自己を問い直すことで現状とは異なるあり方が可能であり、そのためにも、批判は社会の現実や自己のあり方から目をそらさずに理想を追求する営みである、とも述べられている。 の「権威から学」ぶのではなく、 の「批判の活動それ自体を否定する」のでもなく、 の「自己にとっての真実を追究」するだけでもない。</p> <p>ここまでは「倫理」分野・次頁から「政治・経済」分野</p>
-----	--	---

第4問		<p>リード文は「倫理、政治・経済」のオリジナルで、設問は「政治・経済」の第1問・第2問・第5問からの抜粋。</p> <p>問1 政経 03 と同一。双子の赤字は財政赤字と経常赤字だから が誤り。 問2 政経 08 と同一。国にはオンブズマン制度はないので が誤り。 問3 政経 30 と同一。連邦国家とは複数の主権国家が連合して形成された国家で、一般に州によって構成されている。カナダやドイツには州があることを想起すれば に辿り着く。 問4 政経 13 と同一。スウェーデン・フランス・ドイツは国民負担率が高いことを想起すれば が正解だと判断可能。 問5 政経 07 と同一。 は垂直的公平、 は赤字になる、 赤字国債の発行再開は 1994 年度からなのでそれぞれ誤り。 問6 政経 35 と同一。A は勢力均衡、 B は集団安全保障であるから、勢力均衡を示す が正解となる。</p>
第5問		<p>リード文および設問は「政治・経済」の第3問と同一。</p> <p>問1 政経 17 と同一。ルソーは間接民主制を批判したことを想起すれば を選べる。 問2 政経 18 と同一。小選挙区比例代表並立制の導入は 1994 年であることを知らないと を選べない。 問3 政経 19 と同一。 は個人情報保護法の説明。 問4 政経 20 と同一。A がエジプト、B がミャンマー、C が米国であるから が正解となる。 問5 政経 21 と同一。最高裁の違憲判決例はすべて記憶しているはずなので を選ぶのは容易であろう。 問6 政経 22 と同一。日本では行政府である内閣に法案提出権があるので が正しいと判断可能。 問7 政経 23 と同一。労働基準法第3条は「使用者は、労働者の国籍、信条又は社会的身分を理由として、賃金、労働時間その他の労働条件について、差別的取扱をしてはならない。」と規定しているので が正しい。</p>
第6問		<p>リード文および設問は「政治・経済」の第4問と同一。</p> <p>問1 政経 24 と同一。 が価値貯蔵、 が交換、 が支払、 が価値尺度である。 問2 政経 25 と同一。需要量 > 供給量であれば価格は上昇するから が誤り。 問3 政経 26 と同一。Aのリコールは商品回収であるからA、イのパブリックコメントは意見公募であるからB、ウのカルテルは協定による競争制限であるからCとなって、正解はとなる。 問4 政経 27 と同一。無過失責任の導入は企業の負担増をもたらすから であると判断できる。 問5 政経 28 と同一。 普及していない、 重化学工業ではない、 インフレが生じた。 問6 政経 29 と同一。 リカードは自由貿易を主張、 はケインズ、 キチンの波は在庫投資が原因。 問7 政経 30 と同一。行政指導は有力な政策実現手段のひとつであったから は誤り。</p>